

報道関係者各位

令和8年2月13日
山梨県総務部市町村振興課
課長 清水康太
電話 055-223-1424 (内線 2450)

県内初 「市町村職員共同採用試験」 始動 ～県と市町村による広域連携、深刻な人材難に挑む～

山梨県は、県東部地域の3市3村と連携し、県内で初となる「共同採用方式」による市町村職員採用試験を実施します。

※「3市3村」とは、都留市・大月市・上野原市・道志村・小菅村・丹波山村です。

※「共同採用方式」とは、複数の自治体が共同して採用試験を実施し、受験者が志望する自治体を複数選択できる方式です。今回は、3市3村が1次試験を共同で実施し、2次試験以降は各市町村が個別に実施します。

1 背景等

- 少子高齢化や人口減少に伴い、市町村では職員数の減少や業務の複雑化が進み、行政サービスの維持が大きな課題となっています。こうした状況から、県は令和6年9月に3市3村と「人口減少下における市町村行政の在り方勉強会」を設置し、県と市町村間の連携について方策を協議してきました。
- その中で、複数市町村が共同して採用を行う「共同採用方式」が効果的な手段として位置付けられたことから、県が主体となり広域的な採用体制を構築し、小規模市町村における安定的な人材確保を図るものです。
- なお、県内で、県と複数市町村が共同で採用試験を実施するのは、今回が初めてとなります。県は試験広報や1次試験の運営を主体的に担うことで、市町村の採用事務を広域的に支援します。

2 試験スケジュール、受験資格等（予定） ※試験の詳細は3月上旬に公表予定です。

- 申込期間：令和8年3月9日(月)～3月30日(月)
 - 1次試験：令和8年4月10日(金)～4月21日(火)
 - 1次合格発表：5月上旬 2次試験以降：5月中旬～ 最終合格発表：6月中
- ※別紙チラシ及び県公式HPもあわせてご覧ください。

URL : <https://www.pref.yamanashi.jp/shichoson/r8tobukyodosaiyo.html>

3 期待される効果

〈受験者側〉

- 応募機会の拡大：複数市町村へ一度に申込ができ、幅広い選択肢から就職先を検討できる。
- 地域定着の促進：地域内での就職機会が増え、結果として、地域定着への促進につながる。

〈市町村側〉

- 人材確保の強化：受験機会の拡大により受験者が増え、安定的な職員の確保に資する。
- 業務負担の軽減、効率化：県が採用事務を一部担うことにより、市町村職員の負担が軽減されるとともに、採用業務の効率化が図られる。

一度の試験で複数の自治体に チャレンジできる

令和8年度 山梨県東部地域3市3村職員共同採用試験

山梨県内初!! 共同採用試験!!

東部地域の魅力

- ✓ 自然×便利のハイブリット生活
ここにあり 東京近し！
- ✓ 小さな地域で 自分らしく
大きくチャレンジできる場所！
- ✓ 顔の見える関係だからこそ
仲間ができる・力になる！



このあたりが
“東部地域”です

地域に一番近い場所で

地域を支え 動かすのはあなた！

都会に近い
地域に一番近い
自然に近い

地域に一番近い 働き方

試験の特徴

- ✓ 一度の試験で複数自治体に
申込ができる

- ✓ 1次試験は全国のテスト
センターで受験可能

- ✓ 公務員試験対策しなくても
安心して受けられる



1次試験の合格者は
合格したすべての
自治体の2次試験を
受験可能



SCOAテスト
センター方式採用
全国約300の会場で
受験可能
(県内は3会場)



専門試験なし
民間企業志望者や
就業中の方も
ウェルカム

試験日程（予定）

- ・申込期間 ▶ 3月 9日(月)～30日(月)
- ・1次試験 ▶ 4月 10日(金)～21日(火)
- ・1次合格発表 ▶ 5月上旬
- ・2次試験以降 ▶ 5月中旬～
- ・最終合格発表 ▶ 6月中

受験資格・募集職種

- ・受験資格
▶自治体ごとに設定
- ・募集予定職種
▶行政職、保健師、保育士、
土木職、建築職、社会福祉士

※ 試験日程、受験資格等の詳細につきましては、3月上旬公表予定の試験案内で確認してください。

お問い合わせ： 山梨県総務部市町村振興課
TEL 055 (223) 1424

最新情報はこちらから



都留市



都留市は、自然とまちが程よく調和した心地よい暮らしができるまちです。市内には里山の散策コースや清らかな川があり、四季折々の風景を楽しめます。また、大学があることで若い世代の活気が生まれ、地域イベントや文化活動も充実しています。

スーパーや公共施設がまとまっているため生活しやすく、子育て世代にも安心の環境です。自然も便利さも楽しめる、誰にとっても居心地の良い魅力あふれるまちです。

大月市は、首都圏と山梨・長野、さらに富士山方面を結ぶ交通の要衝として東京の西の玄関口と位置付けられています。

また、秀麗富岳十二景などの雄大な眺望を楽しめ、桂川沿いの渓谷散策や登山などのアウトドアも存分に味わうことができます。

暮らしやすさと自然の気持ちよさを両立した、観光として訪れる人にも悠々自適な生活を求める人にも魅力的なまちです。

大月市

上野原市



上野原市は、都心から近い距離にありながら、山の風景や里山文化が息づく落ち着いたまちです。アウトドアやハイキングを楽しめる場所が多く、自然に包まれた時間を気軽に味わうことができます。

地域の人々も温かく、新しく来る人を歓迎する雰囲気が根づいています。日常は静かに暮らしつつ、必要なときにはすぐ都市に出られる便利さも魅力です。自然と暮らしがバランスよく寄り添う、やさしいまちです。

道志村

道志村は、深い森と清流道志川に囲まれた、自然の魅力がぎゅっと詰まった村です。水のきれいさは全国でも知られ、川遊びやキャンプを目的に多くの方が訪れます。空気が澄んでおり、朝夕の静けさは心を落ち着かせてくれます。

村には手作りの温かさを大切にした施設や小さなお店もあり、訪れた人をやさしく迎えてくれます。忙しい日常から離れて、ゆっくり自分のペースで過ごせる村です。



小菅村



小菅村は、多摩川の源流部に位置する人口約600人の小さな村です。都心から80km圏内にありながら、ミズナラやブナなどの原生林、大型哺乳類や様々な野鳥、昆虫から可憐な野の花まで、豊かな自然が残っています。

本村では、「みんなでつくる源流の輪 こすげ」を掲げ、元気で温かい源流の郷の実現を目指しています。これまで以上に魅力ある小菅村としていくために一緒に村づくりに携わっていただける方をお待ちしております。

丹波山村

丹波山村は、日本百名山の雲取山をはじめとした2,000m級の山々に囲まれた、多摩川源流の小さな村です。青梅街道沿いにあり、村の中を歩けば、街道文化の雰囲気を肌で感じられます。

人口は約500人と、離島を除く関東圏で最も少ないものの、移住専門誌のランキングで2年連続1位に選ばれるほど移住者が多いのも特徴。小さくても活気のある、新しい暮らしや文化、そして人との出会いが待っている村です。

